



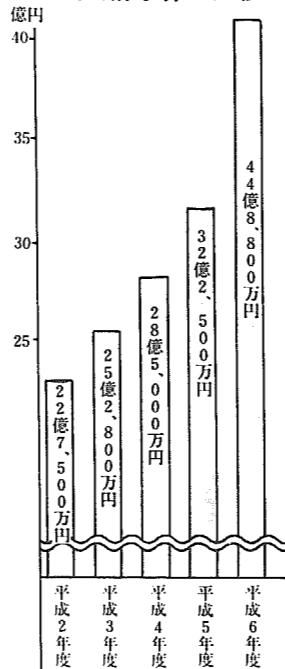
順調に進む総合体育館工事

町制施行を目ざし よ～し はりきって 平成6年度一般会計予算

歳出予算の性質別内訳

歳出	44億8,800万円	(100%)
人件費	9億3,289万円	義務的 経費 (30.3%)
扶助費	1億1,984万円	
公債費	3億851万円	
計	13億6,124万円	
物件費	4億4,253万円	その他 (29.6%)
維持補修費	1億4,342万円	
補助費等	2億7,190万円	
積立金	3,941万円	
投資及び出資金貸付金	2,304万円	投資的 経費 (40.1%)
繰出金	4億603万円	
予備費	167万円	
計	13億2,800万円	
建設事業費	17億9,876万円	(詳細別掲)

一般会計予算の推移



こんな事業に使われます 投資的経費内訳 17億9,876万円

(単位：万円)

- 総務
 - 防犯灯設置工事、カーブミラー、ガードレール、区画線工事、ワゴン車購入 937
- 民生
 - 沼海保育園都市ガス、下水道工事 244
 - 中央保育園トイレ改修工事
- 商工
 - 阿賀野川河川公園整備事業 4,211
 - 木津工業団地案内板設置
- 農林水産
 - 県営灌漑排水及び農地防災、農道整備事業、営農活性化排水対策特別事業 5,726
- 土木
 - 道路改良事業、国道49号歩道整備事業、排水路改修工事 1億6,369
- 消防
 - 沼海地域消防水利拡張工事、消防積載車購入 1,623
 - 消防ポンプ格納庫、ホース乾燥塔、呼び出し装置改修工事
- 教育
 - 総合体育館建設事業、中学校柔剣道場改築工事、スクールバス購入 15億258
 - 小学校教務室、放送室改修工事
- その他 508

- ### 一口メモ (人口2/28現在)
- 住民一人当たり負担する税金(村税) (内は、前年度) 八七、一一四円 (八四、九五二円)
 - 住民一人当たり使われるお金 四五六、七四七円 (三三三、一六六円)
 - 住民一人当たりの借入金 一三九、〇〇九円 (六〇、一四〇円)
 - 住民一人当たりの返済金 三三、三九七円 (三〇、八九二円)

積極予算 やろう 44億8,800万円



浅見 村長

地方財政も経済の長期不況から税収の落ち込みが著しく、財源確保に苦慮いたしております。一方、事業の再構築いわゆるリストラに取り組み、諸経費の節減

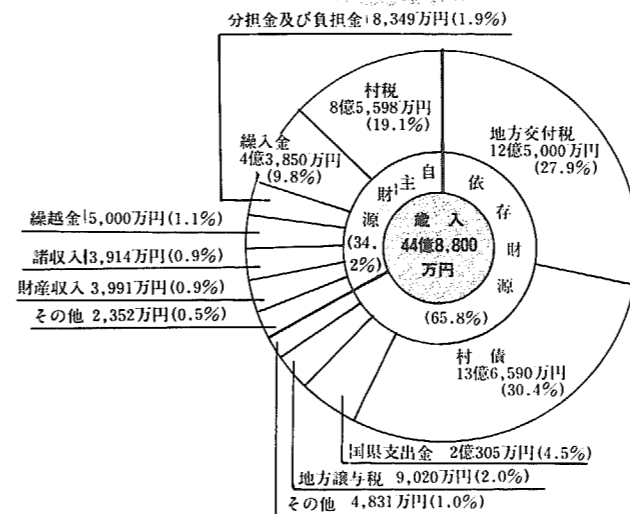
平成六年度施政方針

を図りながら、刻々迫る高齢化時代の老人福祉対策、あるいは生活環境整備等に対処していかねばなりません。今、村を取り巻く客観情勢は、新潟市の発展とともに近郊住宅地として、やがて在来人口を上回る時が案外早まると見られていま

ところで、本村が二十一世紀を展望するに当たって特に自ら発想の転換を図

て、変革と創造性が発揮できる機動的なシステムの構築が目下の急務と考え、平成六年四月一日を期して機構の改革を行うものです。当面の課題として、平成八年度に町制施行を目標に置き、その条件である人口の確保と併せ、広域消防の確立、土地利用計画、都市計画線引、住居表示を重点的に取り組むもので、住民ニーズの多様化する今日、新たな地域づくり、まちづくりは、従来の横並びの模倣方式から脱却した「変革と創造」を求めて邁進していく予定ですので、村民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

歳入内訳



重点施策

- 総合体育館の完成
- 農業の振興 (農業構造改善事業、水田営農活性化事業)
- 新たなまちづくりの推進 (国道49号歩道・メインストリート整備事業)
- 教育施設の整備 (中学校柔剣道場建設)
- 生活環境整備の推進 (全村下水道事業・一般廃棄物処分場建設事業)
- 観光施設の整備 (河川公園の建設)

三月定例議会で平成六年度の村予算が決まりました。一般会計では、三十九・二%増の四十四億八、八〇〇万円。

国民健康保険・家畜診療所・水道事業・下水道事業・老人保健・総合体育館等用地先行取得事業の六つの特別会計は、総額で二十二億一、九五三万円。

一般会計と特別会計の総予算規模は、六十七億七五三万円になりました。

限られた財源のなかでも、環境整備の促進や農業振興などの従来の重点施策を継続するほか、総合体育館の建設などの教育施設の整備、商工観光対策の向上を図るなど積極的になっていきます。



国道49号歩道・メインストリート整備

歳出内訳

